

令和5年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年5月12日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4097 URL https://www.koatsugas.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木 幹也  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)池田 佳弘 (TEL) 06-7711-2570  
 定時株主総会開催予定日 令和5年6月27日 配当支払開始予定日 令和5年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 令和5年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期の連結業績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期	91,469	10.8	5,116	8.3	5,809	7.5	3,941	△5.0
4年3月期	82,483	7.2	4,720	12.6	5,403	13.2	4,149	17.9
(注) 包括利益	5年3月期 4,056 百万円 ( 20.1%)		4年3月期 3,376 百万円 (△40.3%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
5年3月期	71.40	—	5.8	5.6	5.5
4年3月期	75.17	—	6.4	5.6	5.7
(参考) 持分法投資損益	5年3月期 — 百万円		4年3月期 — 百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期	107,506	69,070	63.6	1,239.23
4年3月期	98,400	65,901	66.3	1,182.63
(参考) 自己資本	5年3月期 68,410 百万円		4年3月期 65,286 百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
5年3月期	5,652	△6,672	3,232	25,884
4年3月期	5,795	△3,818	583	23,672

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
4年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00	883	21.3	1.3
5年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00	993	25.2	1.4
6年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00		24.4	

(注) 令和5年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	2.2	2,700	10.4	3,000	0.6	2,000	0.9	35.98
通期	95,000	3.8	5,700	11.4	6,100	5.0	4,100	4.0	73.77

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期	55,577,526 株	4年3月期	55,577,526 株
② 期末自己株式数	5年3月期	373,494 株	4年3月期	373,450 株
③ 期中平均株式数	5年3月期	55,204,052 株	4年3月期	55,204,223 株

(参考) 個別業績の概要

1. 令和5年3月期の個別業績（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期	53,812	10.6	2,886	△0.5	4,403	4.7	3,310	10.8
4年3月期	48,647	△19.6	2,903	18.8	4,202	14.6	2,986	10.7

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
5年3月期	59	97	—	—
4年3月期	54	09	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
5年3月期	89,061		56,132		63.0	1,016	82	
4年3月期	81,056		53,726		66.2	973	23	

(参考) 自己資本 5年3月期 56,132百万円 4年3月期 53,726百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで社会経済活動の正常化が進み、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、サプライチェーンの制約やロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源・原材料価格の高騰、また、急激な為替相場の変動などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを提供することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は914億69百万円（前期比10.8%増加）、営業利益は51億16百万円（前期比8.3%増加）、経常利益は58億9百万円（前期比7.5%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は39億41百万円（前期比5.0%減少）となりました。

当社グループの事業別の状況は次のとおりであります。

#### ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、半導体、自動車、建設など仕向け先において、需要が回復せず、更に原材料価格の高騰が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、生産・販売体制の見直しや安全・保安対策の強化、既存設備の更新などの投資を行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、環境負荷の低い液化アンモニアや水素ガス等の供給網整備や溶解アセチレンを用いた新素材の研究開発を進めております。

『溶解アセチレン』は、建設・土木などの現場関係及び造船業界向けの出荷数量が減少したものの、原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前期を上回りました。

『その他工業ガス等』は、全般的に出荷数量は減少しましたが、原材料価格の高騰による価格改定やアルゴンが現場工事及びスポット需要の獲得、エアゾールガスが新規獲得、また、LPガス等の石油系ガスでは輸入価格の高騰に伴う販売価格の上昇によりそれぞれ増加し、売上高は前期を上回りました。

『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が回復し、売上高は前期を上回りました。

『容器』は、消火設備装置向け容器の需要回復と原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は675億57百万円（前期比10.8%増加）となりました。

営業利益は、56億90百万円（前期比27.8%増加）となりました。

#### 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料価格の高騰や、供給制限、供給不足が続く厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが木工用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加しました。シアノンが南米向けが減少したものの、北米向け高機能品及び韓国・東南アジア向けコンシューマー用の需要が増加しました。ペガロックが中国向けがロックダウンの影響により減少し、また、国内向けが住宅設備関係の需要が減少しました。売上高は、接着剤全般の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり前期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長や塗料製品の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり増加し、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は206億58百万円（前期比11.6%増加）となりました。

営業利益は度重なる原材料価格の上昇の影響を大きく受け、9億37百万円（前期比40.4%減少）となりました。

### その他事業

その他事業では、L S Iカード関連の需要が減少したものの食品添加物の需要が増加し、価格改定もあり前年を上回り、売上高は32億53百万円（前期比7.9%増加）、営業損失は31百万円（前期は55百万円の営業利益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ91億5百万円増加して1,075億6百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ50億22百万円増加して599億98百万円となりました。これは主に現金及び預金が22億90百万円、売上債権であります受取手形及び売掛金が5億76百万円、電子記録債権が14億34百万円、棚卸資産が8億49百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ40億83百万円増加して475億8百万円となりました。これは主に、有形固定資産が前連結会計年度末と比べ42億78百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ59億37百万円増加して384億35百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ27億92百万円増加して284億74百万円となりました。これは主に、仕入債務であります支払手形及び買掛金が3億71百万円、電子記録債務が9億81百万円増加、長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ31億44百万円増加して99億60百万円となりました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金の振替があったものの、長期借入金の融資実行により長期借入金が増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ、31億68百万円増加して690億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ22億12百万円増加し、258億84百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は56億52百万円（前連結会計年度比2.4%減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が59億61百万円、減価償却費が26億10百万円、仕入債務の増加が13億39百万円あったものの法人税の支払いが22億50百万円、売上債権の増加が19億86百万円あったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は66億72百万円（前連結会計年度比74.7%増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が69億4百万円あったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果得られた資金は32億32百万円（前連結会計年度比454.1%増加）となりました。これは主に配当金の支払いが8億82百万円あったものの長期借入金の資金調達が増加した43億30百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
自己資本比率	63.6	66.2	67.9	66.3	63.6
時価ベースの自己資本比率	53.5	45.5	44.2	37.0	36.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.7	0.8	0.9	1.0	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	184.0	167.6	166.3	243.8	189.7

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利息支払額

(注) 1. いずれの指標も連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しています。

3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しています。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている借入金を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動が回復に向かう一方で、地政学リスクの高まりによる原材料価格や燃料価格の高騰及び諸物価の上昇が継続すると予想され、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま。

このような状況のもと、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高950億円、営業利益57億円、経常利益61億円、親会社株主に帰属する当期純利益は41億円を見込んでおります。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当連結会計年度 (令和5年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,969	26,260
受取手形	5,581	4,862
売掛金	15,485	16,782
電子記録債権	4,308	5,742
商品及び製品	2,944	3,445
仕掛品	613	757
原材料及び貯蔵品	1,631	1,835
その他	555	370
貸倒引当金	△115	△58
流動資産合計	54,975	59,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	12,993
機械装置及び運搬具（純額）	3,583	4,347
土地	14,990	15,296
建設仮勘定	2,041	2,052
その他（純額）	1,192	1,238
有形固定資産合計	31,649	35,927
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	9,862	9,731
繰延税金資産	187	192
その他	1,084	1,146
貸倒引当金	△51	△83
投資その他の資産合計	11,083	10,986
固定資産合計	43,424	47,508
資産合計	98,400	107,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当連結会計年度 (令和5年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,923	11,294
電子記録債務	7,642	8,624
短期借入金	1,305	1,205
1年内返済予定の長期借入金	10	1,120
未払法人税等	1,331	926
賞与引当金	1,255	1,456
役員賞与引当金	61	69
その他	3,152	3,778
流動負債合計	25,681	28,474
固定負債		
長期借入金	4,634	7,743
退職給付に係る負債	7	83
役員退職慰労引当金	24	23
繰延税金負債	1,440	1,400
その他	710	710
固定負債合計	6,816	9,960
負債合計	32,498	38,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	56,038	59,097
自己株式	△200	△200
株主資本合計	61,535	64,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,643	3,632
為替換算調整勘定	13	168
退職給付に係る調整累計額	93	15
その他の包括利益累計額合計	3,750	3,816
非支配株主持分	615	659
純資産合計	65,901	69,070
負債純資産合計	98,400	107,506



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	82,483	91,469
売上原価	59,677	67,501
売上総利益	22,805	23,968
販売費及び一般管理費	18,084	18,851
営業利益	4,720	5,116
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	252	267
受取手数料	86	87
その他	615	653
営業外収益合計	965	1,024
営業外費用		
支払利息	23	29
その他	259	302
営業外費用合計	282	331
経常利益	5,403	5,809
特別利益		
投資有価証券売却益	871	152
その他	5	—
特別利益合計	877	152
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前当期純利益	6,274	5,961
法人税、住民税及び事業税	2,068	1,979
法人税等調整額	27	△5
法人税等合計	2,096	1,974
当期純利益	4,178	3,987
非支配株主に帰属する当期純利益	28	46
親会社株主に帰属する当期純利益	4,149	3,941

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
当期純利益	4,178	3,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△928	△8
為替換算調整勘定	98	155
退職給付に係る調整額	28	△78
その他の包括利益合計	△801	68
包括利益	3,376	4,056
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,360	4,007
非支配株主に係る包括利益	16	48

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,885	2,811	52,772	△199	58,268
当期変動額					
剰余金の配当			△883		△883
親会社株主に帰属する当期純利益			4,149		4,149
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,266	△0	3,266
当期末残高	2,885	2,811	56,038	△200	61,535

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,560	△84	64	4,540	602	63,412
当期変動額						
剰余金の配当						△883
親会社株主に帰属する当期純利益						4,149
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△917	98	28	△789	12	△776
当期変動額合計	△917	98	28	△789	12	2,489
当期末残高	3,643	13	93	3,750	615	65,901

当連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,885	2,811	56,038	△200	61,535
当期変動額					
剰余金の配当			△883		△883
親会社株主に帰属する当期純利益			3,941		3,941
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	3,058	△0	3,058
当期末残高	2,885	2,811	59,097	△200	64,593

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,643	13	93	3,750	615	65,901
当期変動額						
剰余金の配当						△883
親会社株主に帰属する当期純利益						3,941
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11	155	△78	65	44	110
当期変動額合計	△11	155	△78	65	44	3,168
当期末残高	3,632	168	15	3,816	659	69,070

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,274	5,961
減価償却費	2,311	2,606
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	7
受取利息及び受取配当金	△263	△284
支払利息	23	29
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,569	△1,986
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△707	△824
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,766	1,339
投資有価証券売却損益 (△は益)	△871	△152
その他	319	976
小計	7,319	7,648
利息及び配当金の受取額	263	284
利息の支払額	△23	△29
法人税等の支払額	△1,763	△2,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,795	5,652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△241	△352
定期預金の払戻による収入	121	302
有形固定資産の取得による支出	△4,278	△6,904
無形固定資産の取得による支出	△184	△38
投資有価証券の取得による支出	△64	△101
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△145	—
その他の支出	△255	△13
その他の収入	1,230	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,818	△6,672
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△100
長期借入れによる収入	1,500	4,330
長期借入金の返済による支出	△10	△111
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△882	△882
その他の支出	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	583	3,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,499	2,212
現金及び現金同等物の期首残高	21,156	23,672
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
現金及び現金同等物の期末残高	23,672	25,884

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、経営組織の形態と取扱い製品及び商品に基づき、「ガス事業」、「化成品事業」、「その他事業」の3つを報告セグメントとしています。

各セグメントの主要な製品及び商品は以下のとおりであります。

セグメント	主要な製品及び商品
ガス事業	溶解アセチレン、その他工業ガス等（酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、LPガス、特殊ガス、混合ガス等）、溶接溶断関連機器（溶接機、溶接棒等）、容器（溶解アセチレン用容器、各種高圧ガス容器）、設備賃貸等
化成品事業	接着剤（合成樹脂系接着剤）、塗料（建築用の下地及び仕上塗料等、エアゾール）、化成品関連原材料、設備賃貸等
その他事業	LSIカード、RFID、電子ペーパー表示機、食品添加物等

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,965	18,501	3,015	82,483	—	82,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	60,965	18,501	3,015	82,483	—	82,483
セグメント利益	4,452	1,572	55	6,079	△1,359	4,720
セグメント資産	55,332	18,640	712	74,686	23,714	98,400
その他の項目						
減価償却費	1,809	418	12	2,240	70	2,311
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,204	1,183	0	4,388	185	4,574

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,359百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント資産の調整額23,714百万円は、全社資産の額であり、全社資産の主なもの、親会社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

当連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,557	20,658	3,253	91,469	—	91,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	67,557	20,658	3,253	91,469	—	91,469
セグメント利益 又は損失(△)	5,690	937	△31	6,595	△1,479	5,116
セグメント資産	60,305	21,096	827	82,229	25,276	107,506
その他の項目						
減価償却費	2,038	486	11	2,535	74	2,610
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	4,800	2,013	—	6,813	20	6,834

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,479百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント資産の調整額25,276百万円は、全社資産の額であり、全社資産の主なものは、親会社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)		当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,182.63円	1株当たり純資産額	1,239.23円
1株当たり当期純利益	75.17円	1株当たり当期純利益	71.40円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載していません。	

(注) 算定上の基礎

## 1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度末 (令和4年3月31日)	当連結会計年度末 (令和5年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	65,901	69,070
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	65,901	69,070
差額の主な内訳(百万円)		
少数株主持分	615	659
普通株式の発行済株式数(千株)	55,577	55,577
普通株式の自己株式数(千株)	373	373
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	55,204	55,204



2. 1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
当期純利益金額 (百万円)	4,149	3,941
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	4,149	3,941
普通株式の期中平均株式数 (千株)	55,204	55,204

(重要な後発事象)

該当事項はありません。